



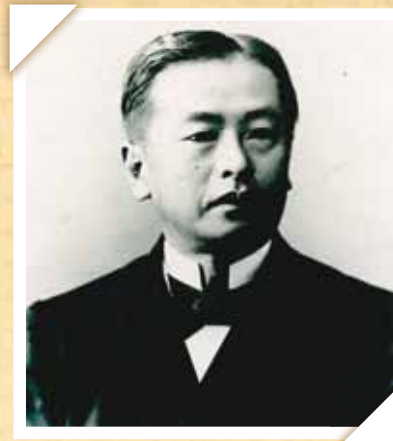
池田輝知 (いけだ・てるとも)
鳥取市歴史博物館所蔵

池田輝知は旧鳥取藩主・池田家の第13代当主です。司法省法学校では岸本辰雄の後輩にあたります。経営的に安定していなかった開校当初の明治法律学校を援助しました。



『明治大学史』池田輝知記事

『明治大学史』(1901年)に記された池田輝知記事(上記参照)です。のちに明治大学の経営が好転すると、岸本は池田輝知が主宰する久松閣(寄宿舎)に援助を行ったと記されています。



創立者 岸本辰雄
(鳥取市上町出身)

目で見る明治大学の歩み

明治大学史資料センター



#66

明治大学と「鳥取」の絆

明治大学と鳥取市は、昨年(2016年)11月の全国校友鳥取大会の開催に合わせ、連携協定を締結しました(本誌13頁参照)。

すでに明治大学と鳥取県、鳥取大学は連携協定を結んでいるため(2009年)、明治大学は鳥取市・鳥取県・鳥取大学と連携して、教育・研究及び地域社会の発展に寄与していくことを目指すこととなりました。

今回は、明治大学と「鳥取」の絆のきっかけとなった岸本辰雄と池田輝知を中心に、明治法律学校草創期のエピソードを紹介します。

(明治大学史資料センター・阿部 裕樹)

岸本辰雄書状

(明治16年 永見明久宛)

岸本が旧鳥取藩士で縁戚にあたる永見明久に宛てた資金援助の依頼状です。岸本が旧鳥取藩士や鳥取県民を頼りにしていたことがうかがえます。



鳥取市尚徳町に立つ岸本辰雄胸像

2006年5月、校友会鳥取県支部が中心となって建立した胸像です。この場所がかつて岸本が学んだ鳥取藩校「尚徳館」の跡地です。

鳥取市上町に立つ岸本辰雄顕彰碑

2016年11月、校友会鳥取県支部により、かつて岸本家の屋敷があった場所に新たな顕彰碑が建てられました。

